

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 縄文時代の人々が、弓矢や石器などを用いて動物を捕らえる食料確保の手段を何という？ |
| 問2 | 1877年にアメリカの動物学者モースによって発掘調査された、日本で最も有名な貝塚を何という？ |
| 問3 | エドワード・モースが本格的な調査を行い、縄文土器の由来となった場所はどこ？ |
| 問4 | 縄文時代に、動物の骨や角を加工して作られた道具全般を何という？ |
| 問5 | 青森県に位置する、縄文時代の弓の破片や大規模な住居跡が発見された代表的な遺跡を何という？ |
| 問6 | 地面を掘りくぼめて柱を立て、屋根をかけた住居が広く作られた日本の先史時代を何という？ |
| 問7 | 1877年に来日し、大森貝塚を発見したアメリカの動物学者は誰？ |
| 問8 | 大森貝塚の発掘調査をきっかけとして確立された、遺跡や遺物から過去の人類の生活を研究する学問を何という？ |
| 問9 | 明治政府が近代化のために招いた、専門的な知識を持つ外国人のことを何という？ |
| 問10 | 縄文時代の人々が食べ物の調理や保存のために使用し、煮炊きなどに使われた道具を何という？ |
| 問11 | 縄文人が食料の食べ残しや不要な道具を捨てた場所で、当時の歴史を知る手がかりとなる遺構を何という？ |
| 問12 | 縄文時代に、石を磨いて作られ、木を切り倒したり加工したりするために用いられた道具を何という？ |
| 問13 | 青森県にあり、大型の竪穴住居跡や高床式建物跡が多数発見された、縄文時代の代表的な集落跡を何という？ |
| 問14 | 縄文時代、骨から作られ、海や川で魚を捕らえるために使用された道具を何という？ |
| 問15 | 地面を掘って床を作り、その上に屋根をかけた縄文時代の住居を何という？ |
| 問16 | 土器の表面に見られる縄目模様から、エドワード・モースが名付けた当時の土器を何という？ |
| 問17 | 海岸近くの低地などで見つかる、縄文人が食べた後の魚の骨や貝殻が積み重なった遺跡を何という？ |
| 問18 | 縄文時代の土偶と対比されることが多く、古墳時代に作られた焼き物の像を何という？ |
| 問19 | 縄文時代の人々が食べた貝殻や木の実の殻などが積み重なってできた遺跡を何という？ |